

Peace in the land of Ukraine ～ウクライナに平和を！



ロシアは「国際法を守れ！」と街頭から訴える高橋ちづ子衆院議員

民報
おうしゅう

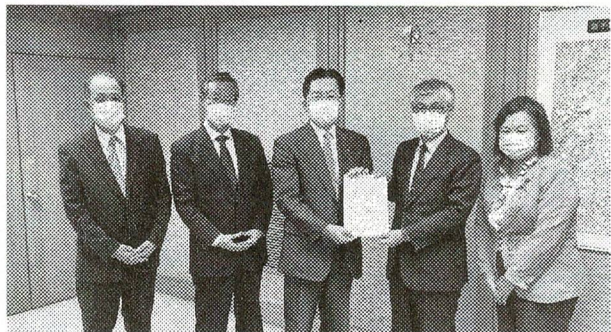
讀者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

緊急行動 反戦スタンディングに
労働者や市民など60人余が参加

5月1日は、労働者の祭典であるメーデーの日ですが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、胆江地区では集会とデモ行進が中止となりました。そのため、反戦スタンディング実行委員会（代表 岩崎郁郎 胆江労連議長）が呼びかけて、「緊急行動 反戦スタンディング Peace in the land of Ukraine」が行われ、労働者や市民など約60人余が参加、横断幕やプラスター、ひまわりの花を胸につけながら、約1時間間のスタンディングで行交う車などにアピールしました。日本共産党の高橋ちづ子衆院議員が駆け付け、街頭から訴えました。

コロナ感染急拡大対策を達増知事に申し入れ



左から高田一郎県議、斉藤信県議団長、達増拓也知事、菅原則勝県委員長、千田美津子県議

3. 冒険種は、6歳以上88.5%、
全体で50.0%以上いる。10歳が対象

4月20日、日本共産党

岩手県委員会と県議団は、達増拓也知事に対し、「コロナ感染拡大から県民の命と暮らしを守る緊急申し入れ」を行いました。この申し入れには、菅原則勝県委員長と千田美津子県議等3人の県議団が参加しました。

菅原則勝県委員長は、

「オミクロン株による幼児や児童・生徒の感染が急増しており、人の移動が活発になる大型連休前に対策を強化すべき」と

語りました。また、申し入れでは、感染を抑止するカギとなる3回目のワクチン接種は、4月17日現在、65歳以上で88.5%だが、全体では50.3%に止まり、若い世代で進んでいない事が課題だと指摘しました。

（3回目接種を）若いみなさんが受けて
もらう状況を作りたい…達増知事

これに対し、達増知事は、「感染急拡大を踏まえた申し入れありがとうございます。」

県内の感染は過去最多の状況で死亡者も多く、特に子ども

もたちの感染拡大を防ぐ取り組みを今までにない警戒感を持つて対応したい。「岩手の3回目の接種率は高いが、若い皆さんに受けてもらう状況を作りたい」等と述べました。



国民の立場に立ってスジを通す **【日本経済】**
原発ゼロ、消費税増税ストップ!
 ◆「みんなの未来」をご購読下さい。 日刊紙 1ヶ月 3,497円 日経版 1ヶ月 4,000円



日本共産党
参議院議員

いわぶち友

ウクライナ侵略やめよ！
憲法9条がいきる社会に

5月3日

75 回目の憲法記念日。
青空の福島市内で宮本しづえ県議、福島市議団と街頭から訴えました。

話をずっと聞いてくれる方、手を振ってくれる方など、もいて励まされました。

この間、憲法のことが出てこても話題になります。戦争か平和か、思いは同じだと思えます。憲法をいかに政治の実現が今ほど必要なきはありません。憲法を大切にしてきた思い、平和を願う思いをつないでいきたい。

